

第181回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成24年9月6日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 4人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信  
古磯 勝子  
森内 律子  
島田 恭子

(2) 欠席委員の氏名 早川 富美子(委員長)  
片山 貴之(副委員長)  
片岡 真理

(2) 放送事業者側出席者 大森 敏秋(代表取締役社長)  
佐藤 望(放送部長)  
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

8月24日に放送した「宇都宮PRIDE 愉快的ラジオ」について、試聴と意見交換を行った。

事業者：この番組は、緊急雇用制度を活用した宇都宮市提供の番組として、2010年12月に放送をスタートした毎週金曜日の午前11時30分から12時50分まで放送している生放送番組です。放送当初に番組審議会でも試聴しており、今回が2回目の試聴となります。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：パーソナリティの須賀さんも、リポーターの和気さんも感じのよい声で、以前、試聴した時よりも、リラックスしながら楽しんで話している感じがした。

委員：BGMもテンポ感があり、また洒落た印象のものを使っているのもよい。  
また、「愉快なラジオ」というタイトルどおりの明るい雰囲気が出ていて、全体を通してとても心地よく聞けた。  
ただ、内容が盛りだくさん過ぎて、個々の内容の面白さがあまり残らなかった。

委員：2年近く続いている番組であるからこそ、餃子・ジャズ・カクテルという既存の観光・物産以外に、もっと番組独自で発見した内容を取り上げて、掘り下げて紹介すべきである。宇都宮コレクションの週替わりコーナーにはそういった回もあるので、それを聞いてみたい。

委員：今回、試聴した宇都宮コレクションのコーナーで紹介されていた”宇都宮愉快川柳”は、方言という視点が活かされていて、ユニークな内容だった。ただ、紹介したの川柳は、そのほとんどが他県在住の方からの投稿だったことが気になった。。

事業者：インターネットでこのコーナーがあることを調べて、投稿しているようだ。そういった方の作品は投稿慣れしているのか、洗練されていて上手な作品が多い。

委員：今回、愉快的雑談のコーナーのゲスト阿久澤さんのお話はとても魅力的だった。ただ阿久澤さんは、クラシックのピアニストなのに、そのお話の中で、ジャズのBGMが流れていたのには違和感を感じた。また阿久澤さんの演奏するピアノを聞いてから、そのお話を聞きたかった。

委員：雑談のコーナーは、インタビュアーであるパーソナリティからの問いかけが足りなく、”雑談”というタイトルからイメージする2人の会話がクロスする感じがあまりなかった。

委員：”愉快”というキャッチコピーを連呼し過ぎている気がした。また、コーナーの最後でパーソナリティやリポーターが、「ありがとうございました」という言葉を常套句のように安易に使っているのが気になった。本当に感謝を伝えたい場面で、「ありがとうございます」と現在形で使うようにしてほしい。

委員：伝え手・話し手として、自分だったら何を伝えたいのか、紹介したいのかをもっと意識して話してほしい。何を伝えたいのか、電波に乗せて発信している責任、その役割を意識して、日々、教養を積んで、いい番組をこれからも届けてほしいと思う。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を10月4日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし